

令和3年度(2021年度)

管理事業名	青少年クリエイティブセンター事業			総合計画の体系	大綱 4 子育て・学び 政策 3 青少年がすこやかに育つまちづくり 施策 1 青少年の健全育成
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 10	教育費	(項) 5	社会教育費 (目) 6 青少年クリエイティブセンター費
部局名	地域教育部	予算執行所属	青少年クリエイティブセンター		
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名				
事業の目的と概要 【青少年クリエイティブセンター管理事業】 施設や設備の維持管理に係る清掃業務・警備業務・空調設備・エレベータなどの保守点検業務、備品等の管理修繕、運営審議会の開催、運動広場の維持管理、施設利用者の保険加入、公共料金や消耗品購入、会計年度任用職員報酬等支出などの施設管理経費に係る経理事務等を行います。 【青少年クリエイティブセンター主催事業】 青少年の学習活動と子育て等を支援し、青少年の健全育成と人権教育の推進を図るため、学習活動の推進(体験活動事業・養成事業・学習支援事業)、交流の推進(利用者交流事業・教室事業・自主活動支援事業)、子育て支援の推進(人権講座・相談事業・子どもすこやか広場事業)、情報の提供(情報収集提供・広報誌の発行)等を行います。					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
施設利用者数	人	71,841	35,704	33,803	青少年クリエイティブセンターの利用人数
主催事業の参加者数	人	13,842	4,922	4,406	主催、共催する事業の参加人数
成果の説明	令和3年度(2021年度)の利用状況は、緊急事態宣言発出等で臨時休館となったため、施設利用者数及び事業参加者数が減少しました。 ・青少年の学習活動と保護者の子育て等を支援し、青少年の健全育成と人権教育の推進を図ることを目的として、青少年の健やかな成長と人権感覚の豊かな青少年の育成等の成果を上げています。活動指標として事業の内容を精査しつつ継続して事業を実施する必要があります。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	165	71	155	83
経常収入 小計(a)	165	71	155	83
給与関係費	57,555	55,222	64,350	9,128
物件費	28,189	23,679	29,531	5,852
維持補修費	810	484	10,885	10,401
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	4,068	2,547	3,368	821
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	15,852	16,225	16,491	266
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	3,294	3,287	3,477	190
退職手当引当金繰入額	798	1,447	8,069	6,622
支払利息	-	14	21	6
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	110,566	102,905	136,191	33,286
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△110,401	△102,834	△136,036	△33,202
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△110,401	△102,834	△136,036	△33,202
一般財源充当額	96,620	88,456	114,852	26,396
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△13,780	△14,378	△21,184	△6,806

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	施設管理委託料 21,477千円 需用費(光熱水費等) 4,855千円
維持補修費	施設改修工事費 9,295千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	165	71	155	83
行政サービス活動支出	96,786	88,161	114,375	26,214
行政サービス活動収支差額	△96,620	△88,090	△114,221	△26,131
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	366	631	265
財務活動収支差額	-	△366	△631	△265
収支差額 合計	△96,620	△88,456	△114,852	△26,396
一般財源充当額	96,620	88,456	114,852	26,396
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入) 諸収入155千円
----------	--------------------------

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
施設利用者数	令和元年度	71,841 人	1,539 円	青少年クリエイティブセンターの年間の施設利用者数で算出し、利用者1人あたり4,029円のコストがかかっています。利用者数が減少したため、1人当たりのコストが増加しました。
	令和2年度	35,704 人	2,882 円	
	令和3年度	33,803 人	4,029 円	
	令和元年度		円	
	令和2年度		円	
	令和3年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	3,918	4,114	196
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	3,287	3,477	190
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	631	637	5
有形固定資産	5,002,485	4,971,432	△31,053	その他流動負債	-	-	-
土地	4,840,217	4,825,655	△14,563	固定負債	31,858	36,356	4,498
建物・工作物	159,447	143,595	△15,852	地方債	-	-	-
リース資産	2,821	2,182	△639	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	29,662	34,797	5,134
無形固定資産	74	74	-	リース債務	2,196	1,560	△637
インフラ資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	35,777	40,470	4,693
建物・工作物	-	-	-	純資産	4,966,783	4,931,036	△35,747
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	-	-	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	5,002,559	4,971,506	△31,053
資産の部合計	5,002,559	4,971,506	△31,053	負債及び純資産の部合計	5,002,559	4,971,506	△31,053

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

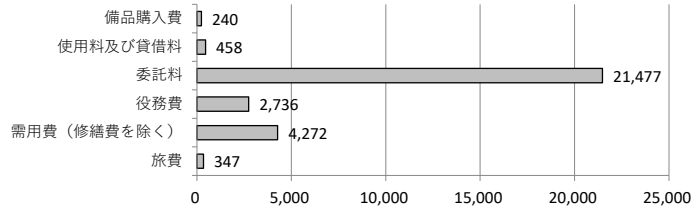
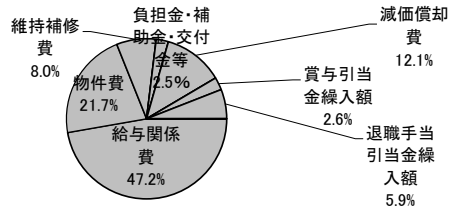
	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	
事業従事人数	6人	1,775日		
給与関係費等	54,638千円	21,258千円		合計(千円) 75,896
内、時間外勤務手当	431千円			

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	建物・工作物の減価償却による減14,563千円

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	青少年クリエイティブセンター
取得年月日	昭和56年(1981年)2月28日
建物・工作物の取得価額	636,452千円
建物・工作物の減価償却累計額	492,857千円
利用料金収入	-千円

▽分析指標

分析指標	年度			差 B-A
	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	
施設維持補修費比率	0.1	0.1	1.7	1.6
施設老朽化比率	72.5	74.9	77.4	2.5
受益者負担比率	-	-	-	-
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	99.8	99.9	99.9	0.0
経常費用対公共資産比率	17.4	16.2	21.4	5.2

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.6%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常経費の主なものにつきましては、給与関係費64,350千円(47.2%)、物件費29,531千円(21.7%)、減価償却費16,491千円(12.1%)となっています。物件費の主な内訳としましては、青少年クリエイティブセンター管理事業の委託料が21,477千円(72.7%)、需用費が4,855千円(16.4%)を占めています。経常収入の主なものにつきましては、その他の収入として会計年度任用職員に係る雇用保険本人負担分55千円、事業参加費95千円が内訳です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

青少年クリエイティブセンターは、昭和56年(1981年)に建設されてから40年が経過し、電気、機械、空調設備等の老朽化が進行しています。そのため、平成29年度に屋上防水改修工事、平成30年度に外壁改修工事、令和3年度はエレベーター改修工事を実施しました。今後も施設の機能を維持するためには設備の更新、補修等が必要になると見込まれます。利用者が日常的に安全かつ安心して利用できる施設改修を優先的に行ってまいります。